

認知症になっても笑顔で過ごせるまち角田市 への取組みについて

「治療とケア」および「連携」編資料 平成25年1月25日
角田市地域包括支援センター 八島浩美

1

平成21年度当初の角田市の状況

- 人口:32,341人
- 高齢者人口:8,526人(高齢化率:26.4%)
- 地域包括支援センター総合相談での状況

相談内容	平成19年度件数	平成20年度件数
認知症に関すること	126	177
家族介護に関すること	46	248

- 介護認定者:1,398人
- 介護認定者の内、主治医意見書の認知症の自立度Ⅰ～M:1,240人、Ⅲ～M:574人41.1%(65歳以上人口比6.73%)
- 年齢別人口から推計した認知症高齢者数:842人
- 認知症高齢者の中に、介護の仕方が分からないために虐待に至るケースがある

2

宮城県委託事業

「認知症地域ケア総合支援体制構築推進事業」
の取組み

平成21年度から平成22年度

3

認知症の人と介護家族の声を聞く

<本人へのインタビュー>

グループホームに入所されている要介護2か
ら要介護3の11名の声

やりたい
ことは仕
事です



楽しいと思うこ
とは、皆さんと
会って話をする
事です

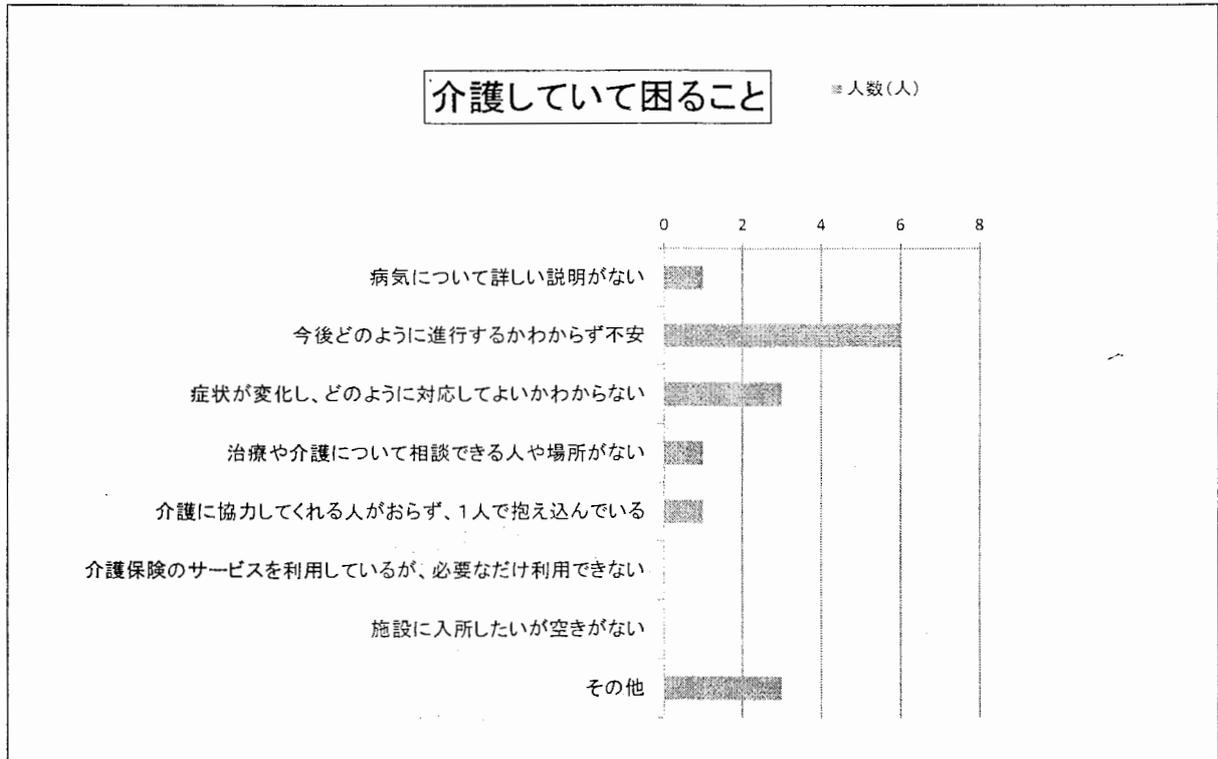


みんなが優し
いから、不安
はありません。

頭が悪いので
治してください。

4

<家族の声>

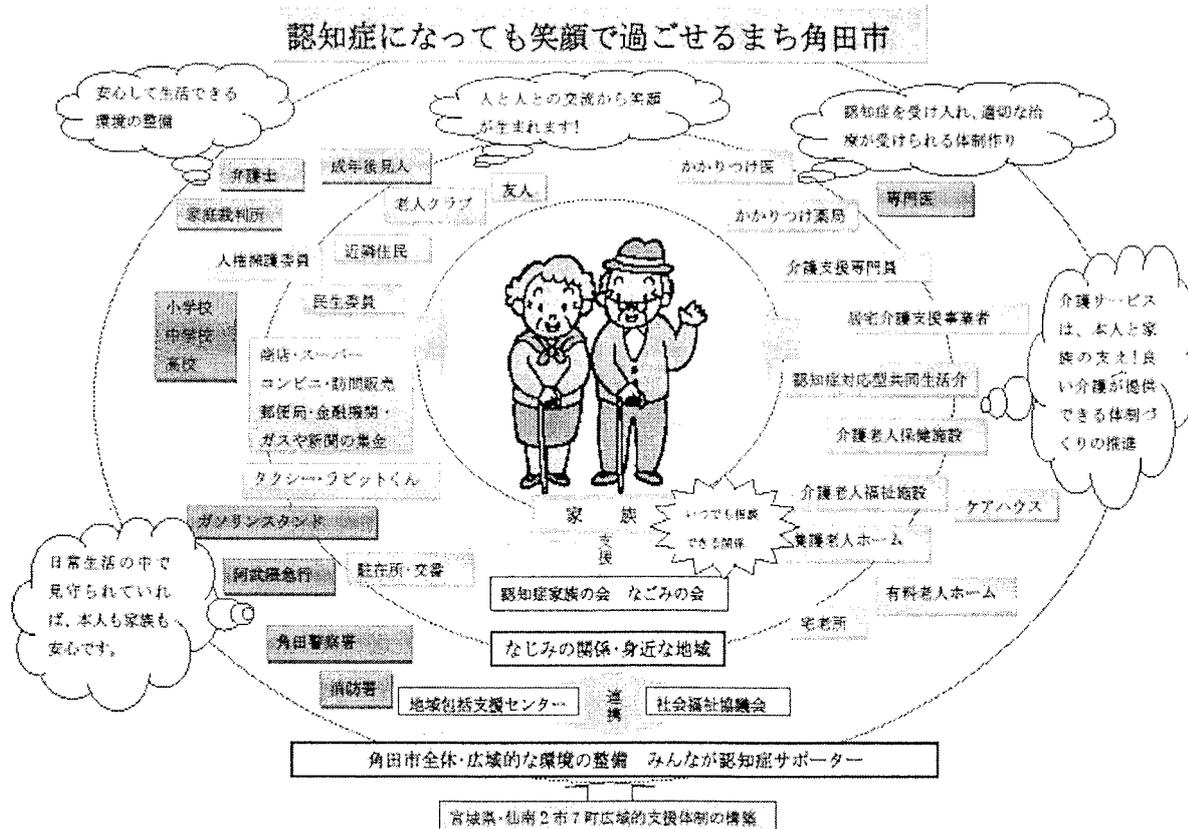


**平成21年度第1回角田市高齢者見守りネットワーク
推進連絡会議で出された現状と課題**



<参集範囲>

- ・医師会
- ・薬剤師会
- ・警察署
- ・民生委員
- ・人権擁護委員
- ・商工会
- ・居宅介護支援事業所
- ・居宅介護支援事業所
- ・介護保険施設
- ・社会福祉協議会
- ・仙南保健福祉事務所
- ・行政区长
- ・地区振興協議会
- ・家族の会



認知症地域ケア総合支援体制構築推進事業計画 (平成21年度～22年度)

目標	事業計画 事業名	事業名
地域の中で日常的な見守りができる	認知症地域ケア推進事業	地域資源マップ作製
		高齢者見守りネットワーク推進連絡会議
認知症を正しく理解している住民がふえる		認知症サポーター養成
キャラバン・メイト育成		
早い段階で認知症に気づき、適切な治療が受けられる	認知症ケア専門サポーター推進事業	もの忘れ相談
本人が望む支援が受けられる		認知症専門研修(医師・歯科医師・薬剤師・行政・介護)
		事例検討会(本人・家族・介護従事者・医師・薬剤師)
		認知症専門ケア研修(介護従事者)
		家族介護教室+介護相談会
		本人と家族の交流会



認知症サポーター養成講座

～認知症について理解を深めましょう～

9

認知症キャラバンメイトの養成・育成



10

認知症サポーター養成講座 角田中学校



家族の体験談

中学生が認知症の方の役で参加
認知症の方の気持ちを考えました

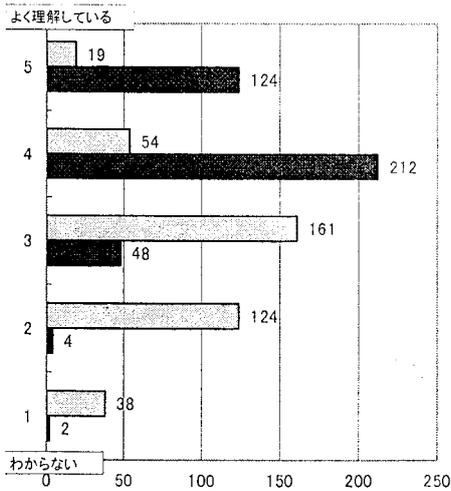


家族としてできること
地域の認知症サポーターとしてできることは？

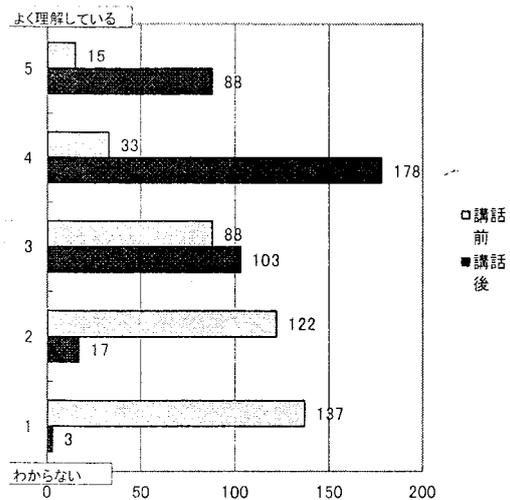


認知症サポーターアンケートより 角田中学校:396人について

1 認知症(病気)について

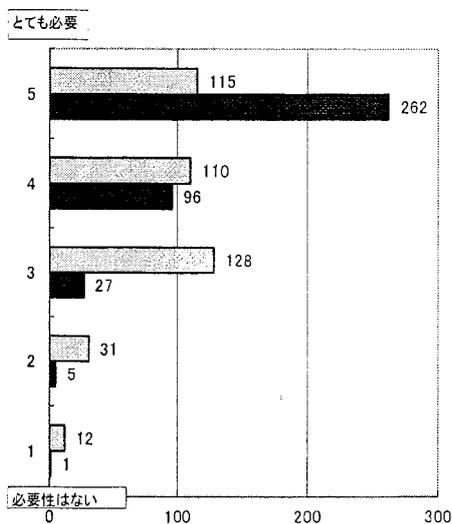


2 認知症の介護の仕方について



13

3 認知症のサポーターは必要か



Q、認知症の方の気持ちは？

・不安・悔しい・悲しい・責められている、介護している人を疑う

Q、介護しているお父さんお母さんの気持ちは？

・不安・認めたくない・わかってほしい・やりきれない・心配・しょうがない・腹が立つ

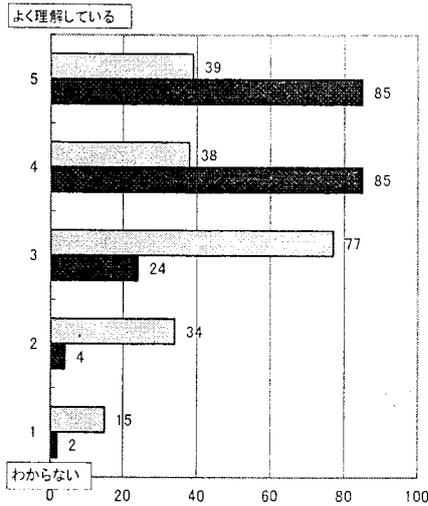
Q、家族としてできること？地域のサポーターとしてできること？

- ・やさしく接したい
- ・気持ちを考えて、理解して接したい
- ・迷子など困っていたら助けたい
- ・あいさつ・聞かれた時はやさしく答える・「面倒くさい、嫌だ」と言わない

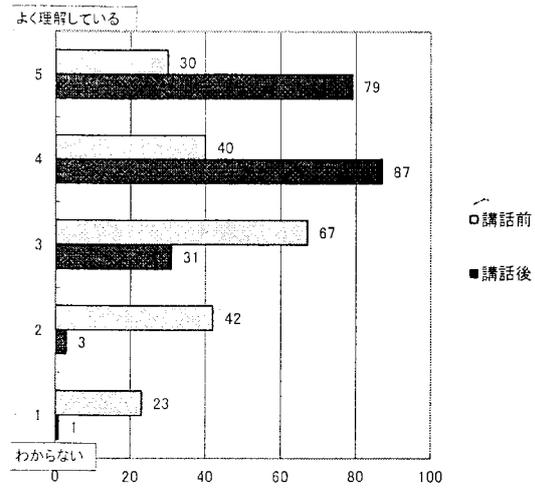
14

一般の方:201人について

1 認知症(病気)について

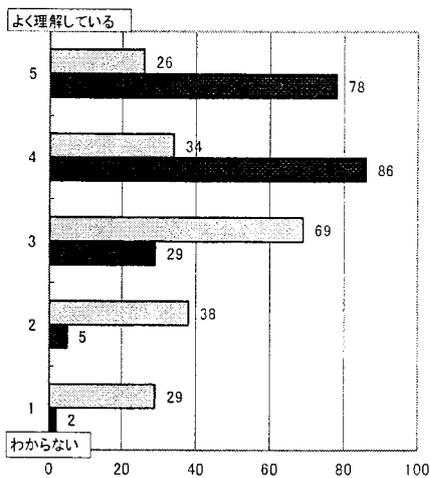


2 認知症の介護の仕方について

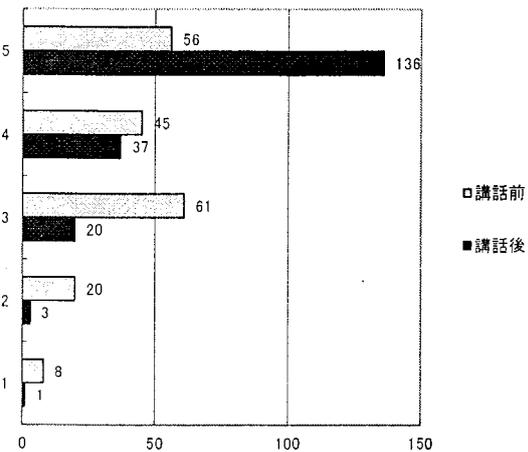


15

3 認知症の予防について



4 認知症サポーターは必要か



Q、サポーターとしてできること

- ・話し相手・家族への助言、応援・見守り

Q、認知症になっても笑顔で過ごせるまちにしていけるために大切な事

- ・認知症を理解する・介護方法を学ぶ・家族間の交流・地域の交流

16

認知症になっても笑顔で過ごせるまち角田市 ステッカー作製・配布



認知症サポーター及び認知症介護の研修を受講した事業所へ配布

17

地域資源マップ(オレンジマップ)作製・配布

オレンジマップづくり隊結成



手分けして聞き取り調査です

こんなサービスがある
といいよね



まちの中には、高齢者にやさしいサービスが沢山ありました

18

安全安心メール登録者数・利用者数

・安全安心メール登録者数

平成21年3月末 1,277人
 9月末 1,424人(+147人)
 平成22年3月末 1,513人(+89人)
 9月末 1,684人(+171人)
 平成23年1月末 1,760人(+76人)

・安全安心メール利用者数

平成19年 0人 平成20年 4人
 平成21年 5人 平成22年 0人

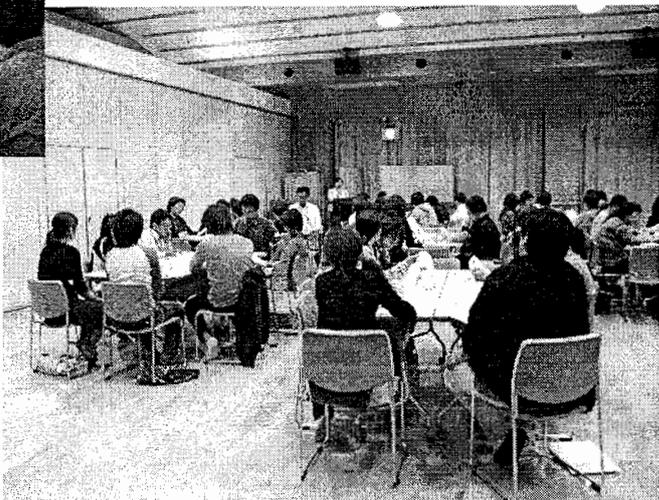
角田市防災安全課より

介護従事者研修会

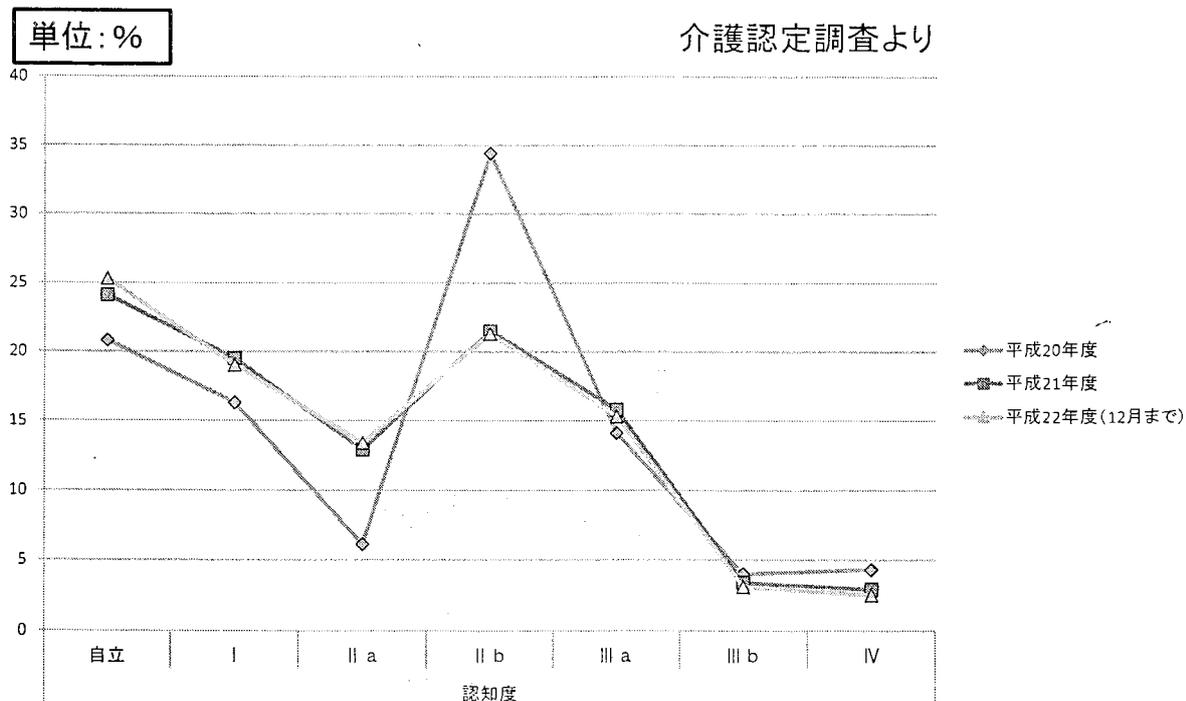


認知症の人の行動には理由がある。理解しようと努める事が大切。考えられるベストのケアを提供するのがプロ

相手(認知症の方)の身になって考える事が大事



年度別介護認定初回時の認知症の自立度の変化



21

角田市における認知症対策(平成24年度)

項目	実施内容	
中高年期	特定保健指導・ウォーキング事業など(健康推進課実施)	
地域支援事業 介護予防事業	一次予防事業	健康・介護予防に関する出前講座、脳の健康教室
	二次予防事業	二次予防対象者把握事業(アンケート)、通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業
その他の福祉事業	生きがいデイサービス事業、高齢者サロンへの支援 など	
地域支援事業 包括的支援事業・ 任意事業	介護予防ケアマネジメント事業	二次予防事業対象者のケアプラン作成 介護予防支援事業(要支援者のケアプラン作成)
	総合相談事業	電話、面接、訪問等による何でも相談
	権利擁護事業	高齢者の権利を守るための相談、普及啓発のための研修会の開催、高齢者見守りネットワーク推進連絡会議、認知症情報誌「みんなで笑顔」の発行
	包括的・継続的ケアマネジメント事業	ケアマネジャー支援、介護事業の質の向上のための研修会の開催
	任意事業	認知症高齢者見守り事業(もの忘れ相談、認知症キャラバン・メイト育成、認知症サポーター養成、認知症サポーターフォローアップ事業、家族会支援)介護教室、介護家族交流会、成年後見制度利用支援事業など

22

県委託事業後の認知症に係る相談状況

相談内容	2016年	2017年	相談内容	2016年	2017年
認知症に関する相談	184	217	認知症に関する相談	184	217
認知症に関する相談	202	214	認知症に関する相談	202	214
認知症に関する相談	79	222	認知症に関する相談	79	222
認知症に関する相談	247	235	認知症に関する相談	247	235
認知症に関する相談	28	72	認知症に関する相談	28	72
認知症に関する相談	4	6	認知症に関する相談	4	6
認知症に関する相談	226	274	認知症に関する相談	226	274
認知症に関する相談	4	4	認知症に関する相談	4	4
その他	229	224	その他	229	224
				2,213	2,217

23

現在の課題

1、ひとり暮らしの認知症の人が増えている。

- ・受診が遅れる。
- ・ひとりで受診するために、診察で正しい情報が伝わらない。
- ・意思決定が難しいために、サービスの調整に時間と労力がかかる。
- ・成年後見制度を利用するまでに時間や手間隙がかかる。
- ・地域の中でトラブルが発生する。施設入所を求められることもある。

2、受診の際、本人の状況を正確に伝えられていない。

- ・家族が同行していても本人の状況を正確に伝えられない。
(メモや相談ノートを活用)

24

こんなときには地域包括支援センターにご連絡ください!

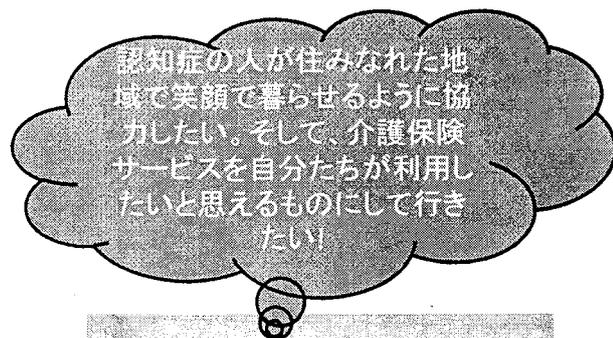
- ・介護保険の申請代行が必要な場合
- ・介護サービスの利用についての相談(ケアマネジャーの選定、サービスの利用、多職種での調整が必要な場合など)が必要な場合
- ・虐待や高齢者の権利擁護に関する相談が必要な場合
- ・成年後見制度の利用が必要かもしれない。(制度説明や申立の支援)
- ・多職種での調整会議(地域ケア会議)が必要な場合

25

介護関係者や住民参加で認知症になっても笑顔で過ごせるまちづくりを推進



認知症情報誌「みんなで笑顔」
発行 年2回



認知症サポーターフォローアップ講座
介護保険施設での認知症の方との交流から、ボランティア団体結成に向けて準備中

26

認知症になっても笑顔で過ごせるまち角田市イメージ図と平成24年度の取り組み

認知症になっても笑顔で過ごせるまち角田市

